

就労準備支援事業における居場所づくり取組事例

- 兵庫県芦屋市では、就労準備支援事業の中で、「寄ってカフェ」や「つどい場くろまつ」を開催し、社会参加が難しいと感じる方に居場所を提供することにより、社会参加能力を育てている。

兵庫県芦屋市の取組

寄ってカフェ ※就労準備支援事業

- 年齢を問わず、家から出られない、ひきこもり気味、人と話す機会を持ちたい等の悩みを持つ方や家族を対象に、居場所となるカフェを定期的で開催。（毎月1回）
- 相談の場に行くことに抵抗がある方が、“カフェ”という名前に親しみを感じられ、気軽に参加できたとの声があった。
- コロナ禍においてはオンラインで開催を続けるなど、工夫しながら実施を継続している。

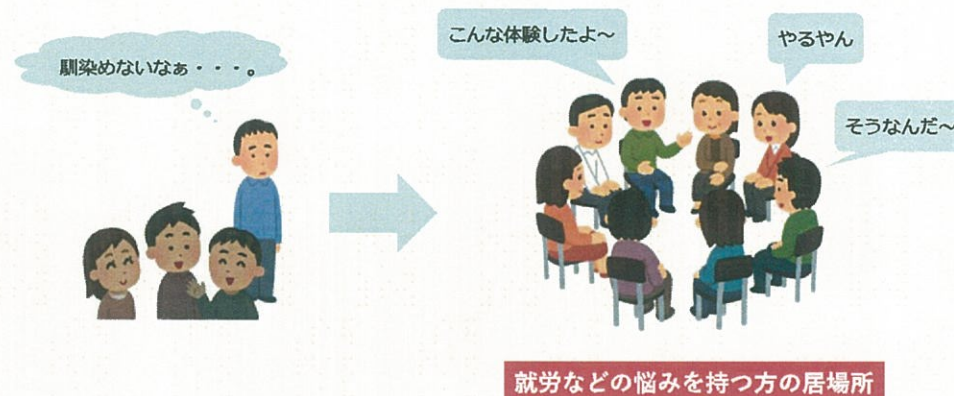


つどい場くろまつ ※就労準備支援事業



※就労準備支援事業

- 毎週月曜日（祝日・都合により休みになる場合あり）に定期的に開催している。
- 就労の悩み・コミュニケーションに自信がもてなかったり、人と話すことに慣れていないなど、同じ悩みをもつ方同士が、一緒に作業体験やプログラム参加を通じて交流をしている。
- コロナ禍においてはオンラインで開催を続けるなど、工夫しながら実施を継続している。



（出典）芦屋市ホームページを参考に厚生労働省作成